

はじめようESD!

「^{イー}ESD」ってなにをするの? (その1)

■ 例えば、地球温暖化を防ぐために、皆さんが、暮らしの中で“省エネ”に心がけることも「ESD」の取組の1つです!

なぜなら「ESD」は、私たちが、いつまでも安心して暮らしていくためのものだから



私たちに求められること

1 知る・気づく

まずは、人類を取り巻く様々な問題を「知り」、暮らしとの「つながり」に「気づく」ことから始めましょう。

でも、「知っている」だけじゃ、未来は変わらない!

2 行動する

将来の世代も、安心して暮らせるように、私たち自身が、ライフスタイルや仕事のやり方などを変えていくことが必要です。

そして...

3 広げる

より多くの人と「気づき」、「行動する」きっかけを共有し、仲間を広げていきましょう。

さあ、皆さんも、素敵な未来を目指して、周りの人々と行動を始めましょう!

■ 「ESD」は、持続可能な開発のための教育 (Education for Sustainable Development) の略です。

「ESD」をテーマとした世界会議が開催

国連は、「ESD」の活動を積極的に行う期間として、2005年～2014年までの10年間は「国連ESDの10年」としています。

その最終年にあたる2014年の秋に、10年間の各国の「ESD」の取組や成果などを取りまとめる世界会議が愛知・名古屋で開催されます。

会議の概要

- 開催時期：2014年秋
- 開催場所：愛知・名古屋
- 主催：ユネスコ、日本政府
- 参加規模：1,000人規模（ユネスコ加盟国は195カ国 ※2012年2月現在）
- 内容：各国の10年間の「ESD」に関する取組の報告や取りまとめなど
- 形式：閣僚級会合、全体会合、分科会など

※この他に、岡山市では各種ステークホルダー（国連機関、研究者、学校関係者、民間企業、NPOなど）の会合が開催されます。



名古屋国際会議場（会場予定地）

愛知万博で芽生えた環境への意識、COP10で学んだ人と生きものとのつながり、そして、これらを発展させ、この「ESD」世界会議開催に向け、愛知県は環境に配慮する「人」づくりを進めます。

すでに始まっている「ESD」

あまり聞きなれない「ESD」。しかし、その取組は、すでに県内の各地で始まっています。例えば、新興住宅地でありながら周囲に自然が残る春日井市では、小学校区を拠点として、身近な自然環境や、地域に暮らす人々との絆を取り戻す取組が行われています。

人・自然を尊ぶ個々の心の育成、 絆再生プロジェクト「かすがいKIZUNA」

環境省の「国連ESDの10年促進事業」モデル事業に選ばれました。

「KIZUNA ラーニング」により発見

小学4～6年生を対象に、学年毎のテーマに応じた屋外での体験活動と教科学習を連動することにより、暮らしと自然や社会との「つながり」を学ぶ



「KIZUNA コミュニティ」で発信

学んだ内容の地域の人々への発信や地域の人々との共同調査・観察を通じて多様な人々との「つながり」を学ぶ



人工林の健康度調査（5年生）
森林の現状を知るとともに、森林からの様々な恵みと暮らしとの「つながり」を学ぶ



啓発イベントの開催

学んだ成果を地域住民に向けて発信し、相互に「ESD」の重要性や、「ESD」に関わることの大切さを学ぶ

「ESD」をとおして「つながり」を知り、私たちの暮らし方を見直しましょう！

※ このリーフレットは、以下の URL より電子データとして取得できます。積極的にご活用ください。
<http://www.pref.aichi.jp/0000047037.html>

「国連ESDの10年」最終年会合 支援準備委員会
事務局：愛知県環境部環境政策課 ESD会議支援グループ
電話 052-954-6627 (ダイヤルイン) F A X 052-954-6914

(2012年2月)